



キワミ AAA+<sup>®</sup>

# 小学生の図形の極

日本全国のみならず海外の教育界も注目する、  
図形学習のスタンダード「図形の極」がさらに進化

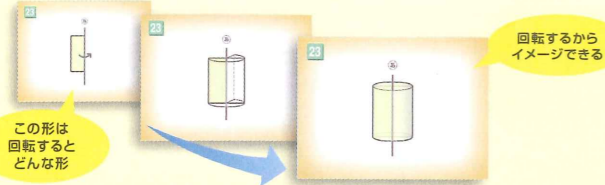
図形問題を解くために最も必要な、図形を頭の中でイメージ化する「イメージング力」を鍛えるのが「小学生の図形の極」。KIWAMI AAA+では、これまでの映像教材に加えて、AR(拡張現実)の活用や「ゆび機能」、AIによる学習診断と出題など、さらに進化した機能で子どもたちのイメージング力向上を無理なく実現します。

小学  
1年生～6年生  
対象

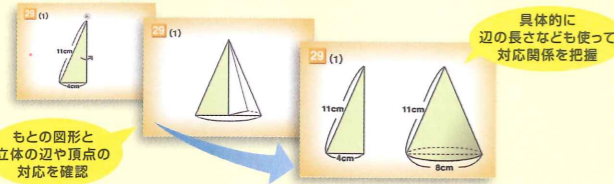
## 特長1 図形を直感的に理解する力を育てる「動く教材」

教科書では高学年になってから多く出てくる立体図形を「小学生の図形の極」では低学年から扱います。低学年であっても、豊富なアニメーションを見ていく中でイメージが頭の中で再生できるようになっていくからです。

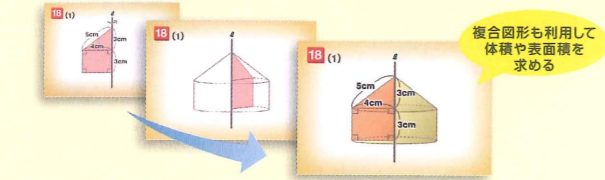
### 1 10級では回転してできる図形のイメージを把握



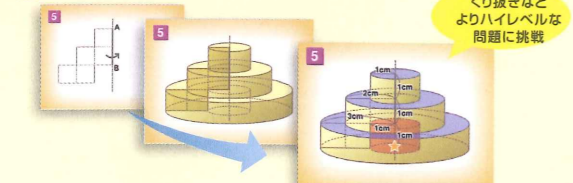
### 2 8級ではさまざまな形を回転させてイメージを育成



### 3 5級では2つの図形を組み合わせた問題に発展

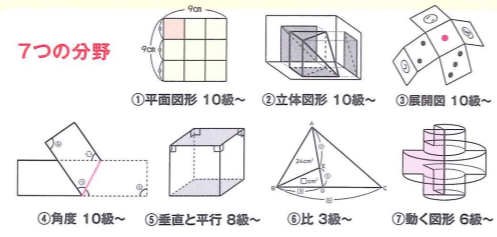


### 4 2級ではさらに複雑な図形にチャレンジ



## 特長2 考え抜かれた「7つの分野」をスパイラルで学習

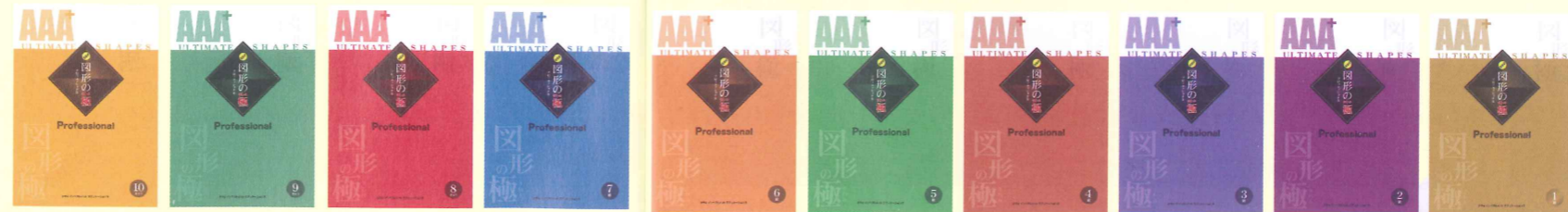
図形問題約3000問を7つの分野に分類し、その上で10段階の級に細分化。級の進行に合わせて問題内容を高度化しながら学習していきます。



## 特長3 実力を確認しながら上級に挑んでいく楽しさ!

学年・年齢に関係なく挑戦できる進級式を採用。進級テストを目標にすることで子どもたちの負けん気と向上心をかき立てます。

理解度に合わせてステップアップ!



## 「KIWAMI AAA+」の新機能

KIWAMI AAA+のアプリでは、AR(拡張現実)の活用や画面上で図形を動かせる「ゆび機能」、AIによる学習診断・出題などの新機能が加わりました。

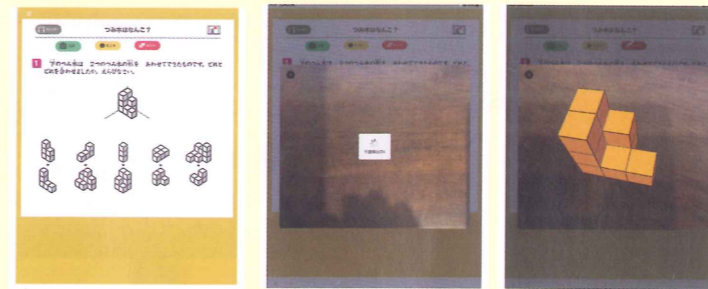


### アプリの標準問題画面

- 先生に聞く 担当の先生に通知を送信し、対応を仰ぎます。
- この問題の単元や大問に対する導入映像を見ることができます。
- ヒント この問題に対するヒント映像を見ることができます。
- 解説をみる この問題に対する解説映像を見ることができます。
- AR ARや「ゆび機能」を使用して問題を解くヒントを得ます。

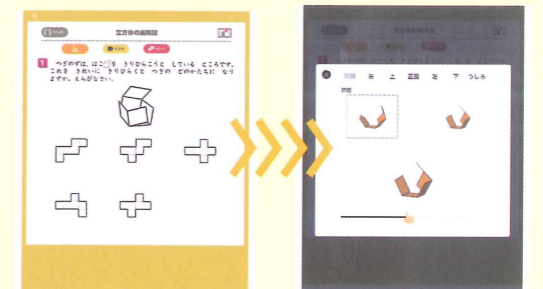
※問題はデータベースからランダムに出題されます。

### AR(拡張現実)



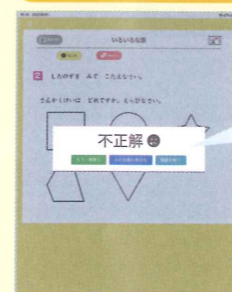
イメージング力の向上とともに、筆記やタップなどの指先の動き以外の刺激を脳に与えます。

### ゆび機能



画面をタップすると、指先の動きにあわせて図形が動いて展開します。

### AIによる学習診断・出題

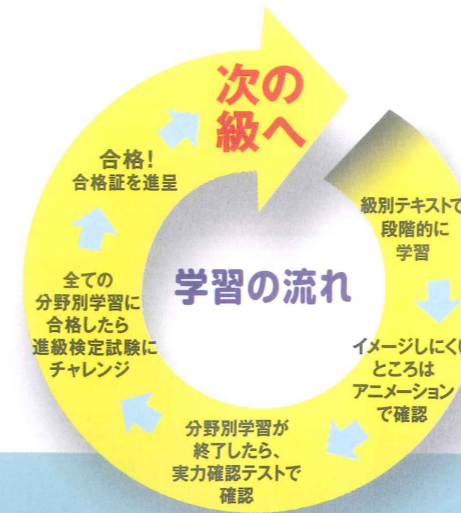
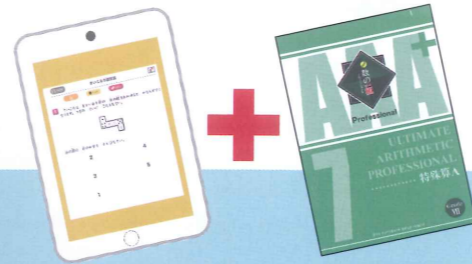


- もう一度解く 同じ問題を出題(答えの並び位置が変わります) ※間違えたときのみ出現します
  - AIの推薦を受ける 違う問題を出題
  - 類題を解く 自分に合った問題を出題
- ※生徒が単元を理解できないとAIが判断した場合は先生に通知を送信します。



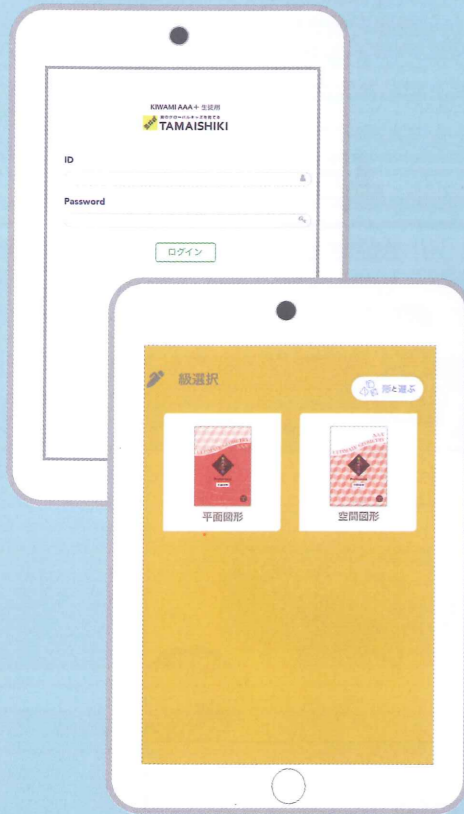


アプリのみで完結せず、テキストとのハイブリッド学習による相乗効果で効率よく学力が向上できます



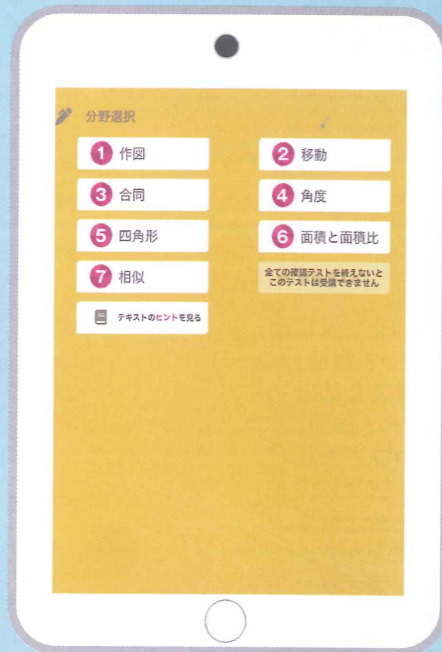
効果的なスパイラル・ラーニング  
考え抜かれた「分野」「単元」のくり返し学習で、進級へ。  
級の進行に合わせて問題内容を徐々に高度化。

STEP 1 アプリを起動して、学習したいテキストを選択



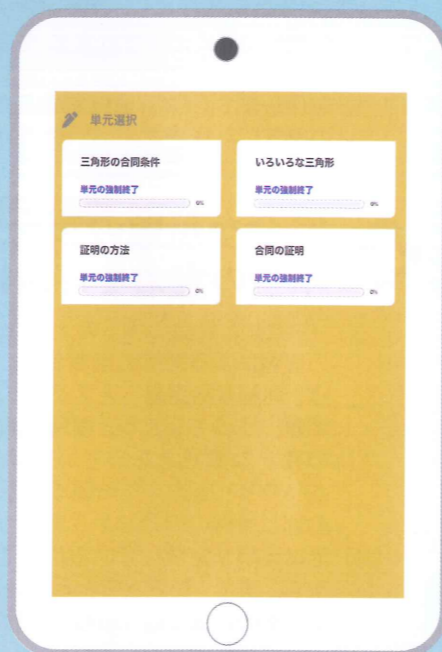
あなたの専用のアカウントでKIWAMI AAA+アプリにログイン。

STEP 2 学習したい分野を選択



学習したいテキストを選択すると、分野一覧が表示されます。

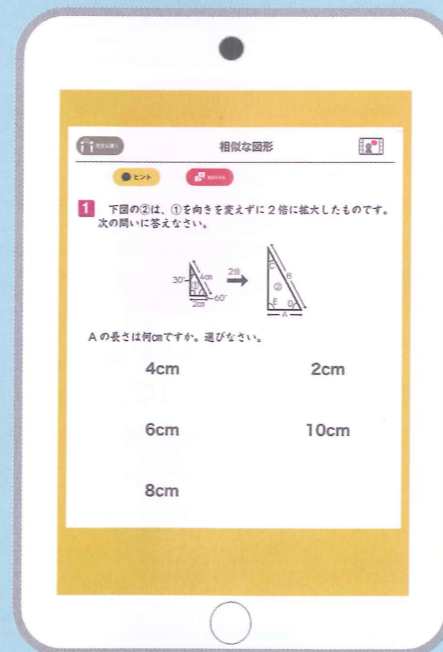
STEP 3 学習したい単元を選択



分野を選んだら、次に学習したい単元を選びます。それぞれに学習状況の進捗率が表示され、すべての項目の進捗率が100%になると「確認テスト」に挑戦できます。



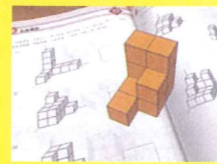
STEP 4 導入映像を見てからアプリの問題にチャレンジ



新単元を学習するための導入映像を見てから問題を解き始めます。アプリから解き始めてください。「ヒント」や「解説」の映像もあります。

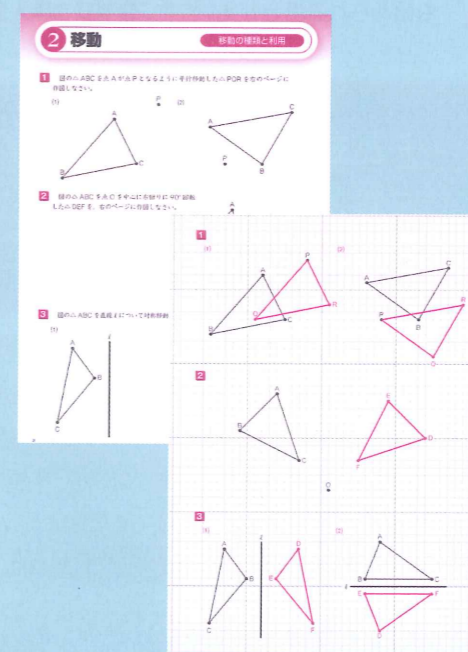
学習補助にARを活用

AR ボタンがあるアプリ問題は、タブレットの画面上に図形を立体的に投影し、角度を変えて見ることができます。



※ARは「小学生の図形の極」で利用できます。

STEP 5 テキスト(冊子)を使って学習した分野を練習



実際に紙のテキストで書き込み学習を行います。自分自身で参考書を作るつもりで丁寧に書き込むことで、学習内容の定着をしっかりと実現します。

STEP 6 「確認テスト」と「進級テスト」にチャレンジ



分野ごとに「確認テスト」にチャレンジしましょう。すべての「確認テスト」に合格すると「進級テスト」にチャレンジできます。「進級テスト」は正解できなかった単元を中心に、AIが問題を選定して出題してくれる、あなただけのオリジナルテストです。進級テストに合格したら、次の級へ!

STEP 7 間違えた問題の単元をアプリで再受講して復習

※使い方は一例です。実際の使用時は先生と相談してください。